



日刊 三月二日 昭和十一年二月四日 第九十七百六千一第【日曜火】

常設講座  
ダイアログトは本國語  
り方言、土語の類で語  
風、話し方の意味でも  
ある、ダイアローグは日  
誌、懐中日記(ポケット  
・ダイアローグ)の調  
子、ダイアローグと云へば  
問答または対話のこと

### 鈴木古川派の対立

#### 喧嘩両成敗が落か 斯て代議員側は松本屋両氏の 當選に全力を上げる事か

石城政友會が衆議院補選の公認  
争ひで合てない紛糾を演じて  
ることは衆報の如く去月廿  
七日平町マルトモ樓上に豫選  
會を開いて以來八日に及ぶ今  
三日に至るも鈴木、古川兩派  
の何れにも軍配が上らず前  
途尙ほ暗澹の状態にあるが兩派  
の言ひ分は共に自派拘泥を免  
かれないにして事致に及んだ  
懸案を上げれば鈴木派の決戦  
投票を不純なものとして代議  
員會が推したる古川候補には  
目下縣支部長空席の同黨が堀  
切、八田、金成諸氏の三頭政  
になつて居り鈴木候補と淺か  
治らぬ關係にある金成氏は堀  
切氏を説いて第三區公認を松  
本、鈴木兩氏に決め本部に於  
ても廿一日夜これを内定せる  
折柄本月一日代議員會側の猛  
烈なる反對に接し黨内の紛糾  
を憂慮する島田總務を初め發  
表見合せを策となすに至つ

### 選挙に關する

#### 防犯座談會 平署の主催で管内九ヶ所に 實際運動前に切上げる

平署では來週二十日の衆議院  
補選の部際懇談會に於て割合  
を助するに當り選上重要な位  
置にある防犯座談會を開催の密であ  
るが大体管内左記九ヶ所の見

### 馬匹の蕃殖向上に

#### 種付業務協議會 産馬區長と種牡馬管理者等 昨日から郡内六ヶ所で

石城産馬組合では去る二日三  
坂村の中三坂を最初種付業  
務協議會を開催し組合各區長  
及び種牡馬管理者と三森技手  
等に於て馬匹の蕃殖向上を圖  
る爲め種付時の病氣並に其の  
時期を誤らざるやう蕃殖上の  
障害除去に努め引續いて三日  
は澤渡村中寺、六日川前、七  
日小川、十二日入遠野、十三  
日田人の六ヶ所に同協議會を  
開かれるが協議の事項は左の  
如くである

### 災害復舊

#### 御齊所街道の 平土木監督所管内に於ける石 川湯本線(御齊所街道)の入遠 野村石畑地内縣道の災害復舊 法止め其の他の工事は今三日 午前八時入札に附されたが千五 百四十個で平均堀江工業に落 札した成功は來る三月三十一 日までである

### 米價下落する

#### 一日の共同販賣 前日に比して七八錢方 最高は十一圓廿六錢

石城郡販賣聯合の去一日に於  
ける米價は既報の如く七  
百二十九依の出荷で競争入札  
に附されたが弱保ち合ひの形  
勢から下押しを示して最高は  
大野倉庫の十一圓二十六錢最  
低は草野の十一圓七錢前日に  
比較して一依に付き七、  
八錢を下落した各倉庫の取引  
値を上れば左の如くである  
平倉庫一號(二〇依)一一  
圓二〇錢 同二號(双葉米  
一六〇依)一一圓二〇錢  
同三號(安積特撰五五依)一  
圓二二錢 同四號(須賀  
川米四三依)一一圓一八錢  
玉川(双葉米二〇依)一四  
圓〇五錢 高久(二〇依)  
一一圓一九錢 好間(小谷  
作米三〇依)一一圓一〇錢  
大野(九〇依)一一圓二六錢  
してゐない

### 青森縣の代表

#### 青森縣の代表 後藤半蔵長 (一) 後藤半蔵長 秋は林檎の色からバット 踊りや出る、汽中汽船 さつさく上り汽船の響き ホニ青森林檎街の響き 實に青森、弘前の街は林檎 に埋もれ東奥の地に旅する者 はリンゴの色に魅惑されず は居られない、歴大王は醫 師の勤めに従つて食事後に必 ず林檎を食べたと云ふこと す、愛児の頭上に置いたリン ゴを羨事に射止めたと云ふ義 民テールの話、リンゴの落ち るを見て万有引力の大発見 をした學聖ニウトンの話等 は人口に膾炙されてゐるとこ ろである

### 青果市況

#### 青果市況 平中央青果卸市場調 大葱(段) 高値 安値 小把(百把) 二〇〇 二〇〇 油菜(百把) 一〇〇 一〇〇 人参(百) 一〇〇 一〇〇 牛蒡(百) 一〇〇 一〇〇 里芋(百) 一〇〇 一〇〇 芋(百) 一〇〇 一〇〇 密柑(静岡) 〇 密柑(早州) 〇 林檎(青森) 〇 林檎(青森) 〇 明日は北の風、晴 明日は東の風、曇後雨また は曇 (小名濱測候所)

#### 劍齋室直與略歴

丙子新正九十歳の自作詩を  
偶然の辭世として

(6) 勿來生

一 開歷年表(自弘化四年至昭和九年)

弘化四年丁未 十月二十三日、磐城郡中津村(今の平  
窪村大字)に生る。(平藩士稻垣善吾  
衛門の三男)(一歳)

嘉永元年戊申 (二月二十八日改元)(二才)

同 二年己酉 (三歳)

同 三年庚戌 (正月二十九日、後年の妻たる菊多郎  
泉村士族平野助五郎子出生(四歳))

同 四年辛亥 (五歳) 同 五年壬子 (六歳)

同 六年癸丑 一月、江戸大塚藩邸に居住し、同藩  
儒者室櫻圃に始めて就學す(七歳)

安政元年甲寅 (十二七改元)同藩士小野派一刀流劍  
術家青柳要八郎の門に入る(八歳)

同 二年乙卯 (九歳)

同 三年丙辰 當年前後江戸に在り、諸大家に就きて  
漢學を聽講す(十歳)

同 四年丁巳 (十一歳) 同 五年戊午 (十二歳)

同 六年己未 (十三歳)

萬延元年庚申 (三月十八日改元)室直の養子と爲  
る、是れ稻垣家と室家は同より近親  
の關係(直與其の光健三男で、又直  
養伯父の先妻は稻垣家より嫁し、又  
伯母二人まで稻垣家に嫁せるに因る  
(なればなり(十四歳))

#### 家庭に奉公か

逃げた女給の養育  
栃木縣那須郡那須町宇前田正  
重の妹茨城縣久慈郡久慈町宇  
新宮カヱ一吉川平磯崎倉吉  
方に女給中の鈴木いの(二七)は

せ會は今三時午後一時から平  
署内に開催されたが氏家検事  
及び縣から八卷刑事課長臨席  
明るい政治は明るい選挙によ  
らねばならぬ選挙公正に則し  
た運動以外に誤つた行動をな  
さぬ懇談を遂げて散會した

込みで平町では新聞記者を招  
集する外各町村共に各種団体  
長、小學校長、消防幹部、町  
村會議員、肅正委員等を會す  
る同會は選挙の實際運動に這  
入らぬ十日頃までに切上げる  
豫定である

五日湯本町公會堂 同日小  
名濱町役場 六日磐崎村小  
學校 平 豊間 好間 内  
郷 江名 赤井は場所及び  
期日未定

候補事務長の  
申合せ會  
第三區關係者が  
今日平署に於て  
第三區選三部に於ける衆議選  
舉の候補者並に事務長の申合

御齊所街道の  
災害復舊  
堀江工業に落札  
平土木監督所管内に於ける石  
川湯本線(御齊所街道)の入遠  
野村石畑地内縣道の災害復舊  
法止め其の他の工事は今三日  
午前八時入札に附されたが千五  
百四十個で平均堀江工業に落  
札した成功は來る三月三十一  
日までである

馬匹の蕃殖向上に  
種付業務協議會  
産馬區長と種牡馬管理者等  
昨日から郡内六ヶ所で

選挙に關する  
防犯座談會  
平署の主催で管内九ヶ所に  
實際運動前に切上げる

鈴木古川派の対立  
喧嘩両成敗が落か  
斯て代議員側は松本屋両氏の  
當選に全力を上げる事か



冬に咲かせる

チューリップ

3 高級開花市場の談
現在のやうに年内に出荷する生産者が僅かに数名に止まるのでは到底一般の需要に應ずることは不可能であり向後生産者が急激に増加することによつて市場の相場が急落するやうなことも當分考へられない現状から見て生産者各戸の研究の餘地は極めて廣いと思ふ、品質の向上も今後の問題として残されてゐるのであるが更に高級品の早期開花によりてチューリップの年内出荷栽培法は一段と重要視されるに至るであらう、

油問屋 關内油店
支店 支那山市露前通 電話長三二八
支店 支那山市露前通 電話長三二八
支店 支那山市露前通 電話長三二八

お醤油は ヤマフル
醤油味贈 たり正宗 鯉節食料品
御贈答用好適品豊富
實用向特選品を各種陳列
ツルヤ

開院 五十嵐婦人科醫院
院 院 院
消食散
能効治主
債券 公債 兩替 金融
多田井質店

結核に!
ホシエンチン
結核防週間
結核の疑ある人よ!
ホシエンチン
(番九二四話電)
ホシチエーンストア一平支部
星 藥 舖